

**スリーエス組
事業協**

15万キロ無交換「エコマーベラス」 中部地区で発売へ

スリーエス事業協同組合（加藤勉英代表理事、愛知県弥富市）は、安藤自動車サービス（安藤一成社長、名古屋市中区）と提携して、環境エンジンオイル「エコマーベラスオイル」を乗用車と大型トレーラに導入した。エコマーベラスは高性能化学合成オイルのトップメーカーである米固セーベラス社製の石油類を一切含まない100%化学合成オイル

（主成分はパラフィン）で、十五万キロまでオイル・フィルター共に無交換走行が可能なおイル。

アメリカ石油協会APIの最高規格を取得済みで、すでに国内実運送テストでは五・八〜一六・五%の燃費向上が確認されているという。

また、従来の石油系オイルに比べ、分子構造が安定して化学変化が起きにくく、長期無

交換でもオイルの劣化が進まないほか、100%のサイクルが可能

で地球環境にもやさしいのが特徴。

交換時期が三〜一万キロに一回の通常オイルに比べて寿命が長いため、車両実働時間が増えるほか、オイルとフィルター交換の経費

を差し引けば、従来と比較して50%以上の経費削減が見込めるなど、コスト面でもメリットが大きい。

同協組は同オイルの指定整備工場として、乗用車からトレーラまで幅広く車両整備を同地区で展開する安藤自動車サービスと提携し、販売を本格化させる。今回は安藤自動車グループ会社のトレーラと一般乗用車に導入し、テスト走行及び燃費の計測を実施。その上で今後、中部地区で販売を展開する。

加藤代表理事は「オイル導入でランニングコストを下げ、かつ環境へ貢献するといった『利益と環境貢献の両立』が実現できる。今年には各企業にまず一台から使用してもらい、その実績を確認していただきながら地道に展開したい」と話している。

「エコマーベラスオイル」に関する問い合わせは、電話0567（六六）二〇二二番、スリーエス事業協同組合まで。

（加藤 崇）



5.8〜16.5%の燃費向上を確認